

熊本市

内水浸水想定区域図（西区）

水路や下水道（雨水）からあふれた
場合の浸水想定区域図

【発行】熊本市 都市建設局 土木部 河川課 雨水対策室
TEL:096-328-2571 〒860-8601熊本市中央区手取本町1番1号（令和6年作成）

想定条件

1時間で
153mmの降雨

※九州北西部地区の想定最大規模降雨

このマップについて

- このマップは、熊本市の下水道計画区域（雨水）において、水路や下水道（雨水）の排水能力を超える大雨によって内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深等を浸水シミュレーションにより示したものです。
- 浸水シミュレーションは、想定最大規模の降雨（1時間降雨153mm）が熊本市全域で降り、放流先河川の水位が高い場合を想定して実施しています。また、浸水シミュレーションは、管渠モデルを必要としない簡易手法を用いて実施しています。簡易手法のため、浸水リスクが大きく表示されている可能性があります。
- 堤防の決壊や河川からあふれた水による氾濫（外水氾濫）は考慮していません。外水氾濫による浸水想定区域については、熊本市ハザードマップをご確認ください。
- 浸水区域、浸水深はあくまで想定になります。浸水想定区域に指定されていない場所で浸水が発生する場合があります。

施設等凡例

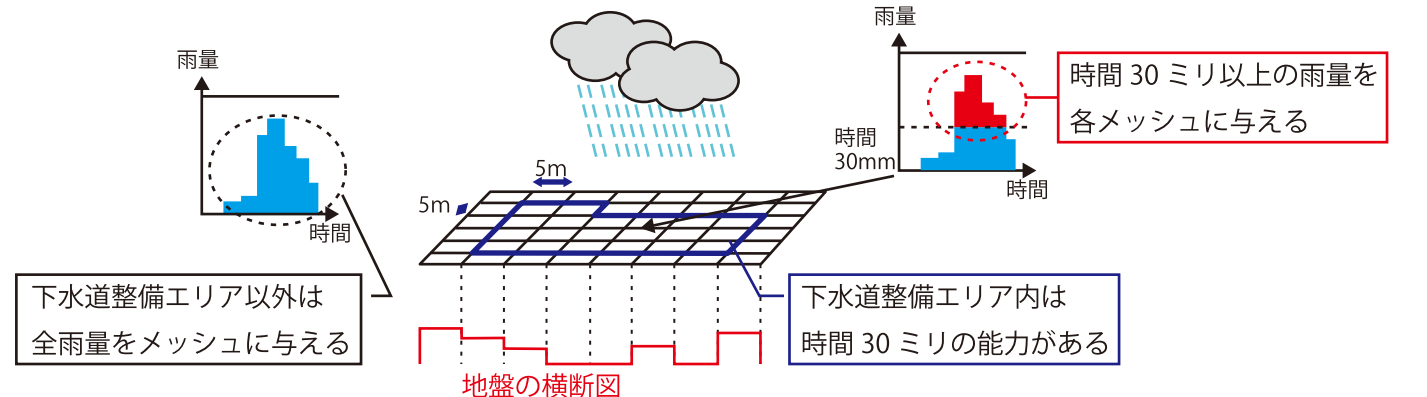
- 医療機関
- 消防
- 警察
- 区役所
- アンダーパス
- 新幹線
- JR
- 主要道路
- 市境
- 行政区界
- 下水道計画区域（雨水）

想定される浸水の深さ

- 1.0m以上
- 0.45m ～ 1.0m 未満
- 0.2m ～ 0.45m 未満
- 0.1m ～ 0.2m 未満
- 0.05m ～ 0.1m 未満

簡易手法の説明

水路情報から各排水区の排水能力を推定し、有効降雨（1時間降雨153mm）から排水能力を差し引いた降雨を解析モデルに入力して浸水シミュレーションを実施しています。



※流出解析モデル活用マニュアル 2017年3月 公益財団法人 日本下水道技術機構参照

西 区

熊本市 内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）

基本事項等

- (1)作成主体:熊本市 都市建設局 土木部 河川課 雨水対策室
- (2)対象範囲:熊本市下水道計画区域（雨水）
- (3)算出の前提となる降雨:想定最大規模降雨（時間最大雨量153mm）
- (4)計算手法:簡易モデル（管渠モデル省略）
- (5)計算条件等:計算メッシュ（5m×5m）
河川水位（計画高水位若しくは吐口地点、吐口周辺の最低堤防高）

内水氾濫と外水氾濫

通常、降った雨は水路や下水道（雨水）などを通じて河川へ排水されています。

内水氾濫とは

降った雨が水路や下水道（雨水）などで排水できなくなることにより起こる氾濫です。

大雨が降り、排水能力が雨量に追い付かなかった場合に、内水氾濫が起こり始めます。

外水氾濫とは

川の堤防が壊れたり、堤防から水があふれたりして発生する氾濫です。

さらに雨が激しく降ると、外水氾濫（洪水）の危険性が高まります。